

BYOD授業が図書館で行われました

今年度図書館ではBYOD型の探究学習が何件も行われました。本とインターネット両方を用いて、効率的に調べものを進めており、とても感心しました。情報源としての本・ネットにはそれぞれ得意分野があります。本は信頼度が高い、ネットは新しい情報が入手できる等、特徴を理解し、どちらかに偏らずに幅広い資料を活用して、「自ら調べる力」を身に付けてほしいです。またインターネット検索では下記を参考に、信頼性の高いサイトを活用するよう心がけましょう。



インターネットのウェブサイトの特徴

<p><良い点></p>	<ul style="list-style-type: none"> ○すぐに最新情報を載せることができる ○簡単に検索でき、必要な所を探しやすい ○音声や写真、動画を見ることができる ○大量のデータを載せることができる
<p><弱 点></p>	<ul style="list-style-type: none"> ●誰が書いているのかわからない情報も多い ●信頼できない情報も多い ●検索結果が多すぎて選びきれないこともある ●電源や端末（パソコンやスマホ）がないと見ることができない

「東京都立高等学校学校司書会ラーニングスキルガイド」より引用

ウェブサイトを参考にするときのチェックポイント

- か** いた人は誰か？
- ち** がう情報と比べたか？
- も** とネタは何か？
- な** んの目的で書かれたのか？
- い** つの情報なのか？

参考にする「価値もない」サイトを見ていませんか？

今月の新着図書Pickup !

『祈りのカルテ 2』

知念実希人 KADOKAWA

研修を終え、循環器内科の医師となった諏訪野。学会で出会った友人との会話から、研修医時代に出会った患者たちとのエピソードを語り始める。患者の抱える繊細な謎を、主人公のあたたかな視点で解き明かしていく医療ミステリー。ドラマ化されました。

『変な絵』

雨穴 双葉社

奇妙なブログに掲載されていた絵、失踪した園児が残したお母さんの絵、木と小鳥が描かれた絵…。9枚の絵を手掛かりに謎を解き明かしていくスケッチミステリー。推理の過程に沿って繰り返し絵が表示されるので、自分もその場に立ち合っ謎解きに参加しているような臨場感があります。



★姉妹校のラ・フォンテーヌ校から本を寄贈していただきました★

フランスのラ・フォンテーヌ校を訪問した先生を介し、白鷗生の皆さんにフランス語の本を二冊寄贈していただきました。大切に読んでくださいね。

・『Fables』 La Fontaine著

校名にもなっている詩人の著作で、動物たちが登場する寓話集。元々は王子のために書かれた本です。「ウサギとカメ」は日本でも有名ですね。

・『Le Capitaine Fracasse』 Theophile Gautier著

若き男爵の活劇を描いた古典的名作。あざやかなカラー絵本です。